

次世代の情報金融資本主義を見据えた「Finance2.0」を目指して

当社グループはネット企業として、システム・ソフトウェア関連の重要性が非常に高く、グループ内企業のシステム構築・維持管理に大きく貢献するシステム関連生態系の形成を目指しています。

また、次世代の情報金融資本主義を見据えた「Finance2.0」を志向しながら、システム関連生態系をベースにした金融とネットの一体化を図ってまいります。

システム関連生態系のこれまでの取り組み

1997年	4月	SBIペリトランス(株)の前身となるサイバーキャッシュ(株)を設立
1998年	4月	国内初となるセキュア・クレジットカード・サービスを開始
2001年	5月	テックタンク(株)(現SBIテクノロジー(株))を設立
2003年	7月	ペリトランス(株)(現SBIペリトランス(株))を完全子会社化
2005年	9月	C4T(シーフォーテクノロジー)と戦略的業務提携の推進
2006年	2月	カードプロセッシングサービス事業への参入
		Silverlake GroupとSBIカードプロセッシング(株)を設立
	4月	(株)ソルクシーズとの業務提携および資本提携
	6月	システム開発・運営業務の内製化に向けて、(株)プラスタス(現SBIシステムズ(株))を完全子会社化
	12月	サーチエンジンをベースとした新金融サービスの構築に向けてSBI Robo(株)を中核会社と位置づける
2007年	2月	共通ポイントサービスを展開するSBIポイントユニオン(株)を設立
		ノルウェーのFAST社と共同でSBI Robo(株)が始動

COLUMN

金融に特化したコミュニティサイト「SBIコミュニティ 株の長者村」をスタート!

インターネット金融関連ビジネスの更なる発展・拡充を図り、2007年4月より「株の長者村」(「イートレ長者村」よりサービス名称変更)のサービスを開始いたしました。「株の長者村」とは、SBIイートレード証券の顧客が株に関する日記を書いたり、注目している銘柄の動きに関する意見交換を行い、他のユーザーとの情報交換ツールとして活用することが可能な、SBIホールディングスが運営する無料コミュニティサービスです。

サービス開始以来、ユーザーの声を活かして機能の改善や新コンテンツ追加により他サイトとの差別化を図っているほか、SBIグループ代表である北尾吉孝をはじめとしてSBIグループの各役員もサイト内でブログを開始し、今後は様々な著名人の参加も予定しているなど有用な情報発信に努めています。既に登録会員数は4万2千人を突破し、月間ページビューは約506万PV(2007年7月末現在)と、利用者は順調に拡大しています。



<https://www.sbi-com.jp/>

「SBIコミュニティ 株の長者村」の概要

特徴

- 1 SBIイートレード証券の口座保有者が参加可能
- 2 SBIイートレード証券から株の長者村へのワンクリック・ログイン
- 3 ユーザーの注目する株式銘柄登録機能
- 4 友達からの評価機能
- 5 コミュニティからの評価機能
- 6 SBIグループ代表 北尾吉孝が参加